

令和8年度 産業・情報技術等指導者養成事業

教科 [研修分野]	講習 番号	日数	定員	実施期間	研修テーマ	研修内容	実施団体	参加者負担 限度額
工業	B-1	5	20	令和8年8月18日(火) ～8月22日(土)	教科「工業」における授業改善に関する講義と演習 ～工業科におけるPBL実践法～	高等学校学習指導要領の教科「工業」の各科目について、生徒が課題の発見・解決に向けて主体的・協働的に学ぶような授業の改善にむけて、講義やPBLに関する演習を通して、指導力を高めることを目指した研修	学校法人金沢工業大学	48,800
商業	C-1	4	40	令和8年7月27日(月) ～7月30日(木)	教科「商業」における情報活用能力及びアントレプレナーシップの育成等に関する学習指導の改善に関する講義・実習	企業や専門家による、情報活用能力の育成に関する講義・実習、アントレプレナーシップの育成に関する講義並びに会計分野に関する講義・実践事例を通して、専門教科としての指導力向上を目指す研修	学校法人千葉学園 千葉商科大学	16,800
水産	D-1	5	15	令和8年7月27日(月) ～7月31日(金)	ダイビング指導における安全管理に関する講義と実習	スクーバダイビングの指導を行う際に必要な安全管理に関する講義と、水深10mプールを使用して安全に指導を行うための実技を中心とした研修を行う。 水産校長協会「潜水技術検定証書基準」記載の、教員の指導体制要件と同等の講習を修了していること。	一般財団法人 日本海洋レジャー安全・振興協会	67,100
家庭	E-1	3	20	令和8年8月18日(火) ～8月20日(木)	社会の変化に対応した衣食住、ヒューマンサービス等の生活産業に関する講義と実習	衣食住、保育などのヒューマンサービスに関わる生活産業の最新情報や消費者教育の推進に向けた講義、実習などを通して、家庭科の指導力を高めることを目指した研修 なお、受講者には、年間指導計画(指導と評価の計画)及び学習指導案等の事前課題提出を求める場合がある。	全国高等学校長協会家庭部会	25,900
看護	F-1	3	20	令和8年8月4日(火) ～8月6日(木)	高等学校看護科における教育を充実するための講義と演習	教科「看護」の指導内容・方法に関する講義や、指導計画・学習評価に関する演習を通して、看護科指導力を高めることを目指した研修 なお受講生は、学習指導に関する事前課題を提出すること。	国立大学法人弘前大学	25,600
情報	G-1	3	20	令和8年8月3日(月) ～8月5日(水)	教科「情報」における主体的・対話的で深い学びの実現、探究的な学び、実践的、体験的な学びの充実に関する講義と演習	教科「情報」における主体的・対話的で深い学びの実現のための探究的な学びの充実や実践的、体験的な学びの充実を図るよう指導力の向上を目指す。講義、演習、企業見学を行う。	一般社団法人 デジタル人材共創連盟	47,500
福祉	H-1	3	30	令和8年8月24日(月) ～8月26日(水)	介護福祉士等の養成に関する学校運営知識を深めるとともに、教科の知識と技能の向上を図るための講習(兼 教員介護知識技能講習)	講義や演習を通して、福祉科教員に求められる介護福祉士等の養成に求められる知識や技術を学ぶとともに、現状と課題を踏まえて理解を深める。併せて、介護実習等に関する授業力、学校運営等の知識や技術を確認し、福祉科教員としての資質向上を目指した研修である。 ※なお、受講者は研修終了後にレポートを提出すること。	全国福祉高等学校長会 または全国高等学校福祉教育振興会	49,700
技術・ 家庭 (技術)	I-1	4	20	令和8年7月21日(火) ～7月24日(金)	技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力の育成を目指した技術分野の指導と評価	材料と加工、生物育成、エネルギー変換、情報等のテクノロジーについて理解させるとともに、これらを用いて社会における問題を解決できる資質・能力を育成するための指導と、学習評価に関する研修	国立大学法人 宮城教育大学	32,200
技術・ 家庭 (技術)	I-2	3	16	令和8年8月17日(月) ～8月19日(水)	デジタルものづくりと情報の技術	中学校技術・家庭科技術分野を対象として、3DCADや3Dプリンタなどのデジタルファブリケーションを活用したデジタルものづくりを理解・体験するとともに、デジタルものづくりを中心に、情報の技術と他の内容の技術を横断した授業構想や、それら技術を用いて社会における問題を解決できる資質・能力を育成するための指導に関する研修	国立大学法人 信州大学	22,600
技術・ 家庭 (家庭)	J-1	2	20	令和8年8月5日(水) ～8月6日(木)	技術・家庭(家庭分野)指導者養成研修「家庭科を広げる・深める」	学習指導要領を踏まえた衣生活・食生活・住生活、消費生活・環境等に関する講義、実験・実習などを通して知識及び技能の習得、ワンランクアップを目指した研修。なお、受講者は指導計画や実践に関する事前アンケートに、必ず回答してください。	国立大学法人 山梨大学	54,500